

# 市議団ニュース

木村奉憲 22-8567、杉野 修 58-9010  
石田利春 52-7260、渡辺昌代 21-9058

## 六月議会が開催中です

6月議会が6月4日から26日までの日程で行われています。6月議会には市長提案議案など15件が提出されており、現在審議中です。

24年度一般会計補正予算では東日本大震災復興の財源として5428万円が液化化対策推進事業、緊急雇用創出基金補助金(637万円)による小中学校等放射線測定事業や学校図書室活用充実事業などが盛り込まれています。また、久喜市自治基本条例推進委員会条例、久喜市地域公共交通会議条例などこれまで検討されてきた条例制定に向けた委員会条例が具体的に提案されています。

① 「UR都市機構賃貸住宅を公共住宅として継続し、居住者の居住の安定を求める意見書」  
② 「県立小児医療センターの現地存続を求める意見書」

### 意見書を提出しました

この意見書は、2月議会において同趣旨の請願（意見書提出の内容）が採択されたことによるものです。政策会議と共産党の「共同提案」です。賛成議員には田村議員も名前を連ねています。

さいたま市岩槻にあるセンターの移転をさせないでという利用者や住民の声が県東部地域で湧き上がっています。共産党提案

### 一般質問をしました

#### 杉野おさむ



#### 久喜市から「餓死」「孤立死」を出さない取り組みを

問 全国的に悲惨な事件が相次いでいます。高齢者のみならず40代の餓死例もあります。税金、料金など公共料金や、電気、ガスなどの「滞納」も軽視できません。行政と民間事業者が連携して情報を共有して「福祉的な対応」をする必要があるのではないかと。生活保護の制度を案内するなどできるのではないかと。

答 福祉サービスの「案内パンフ」の配布を検討する。

#### 暴走車から子ども、住民を守るため、 通学路や歩道の安全対策強化を

問 「通学路の安全総点検」の結果、要望箇所が出たのではないかと。できるところから直ちにやるべきでは。

答 防護柵、ガードレール、歩車分離、照明灯など多く出された。警察とも協議していく。

#### 「震災がれき」の処理受け入れについて

問 埼玉県が岩手県野田村の木材チップを受け入れるための実証実験をしている。放射線の安全性はどうか。

答 放射線量は、埼玉県内の木材の半分程度だった。安全性は確認した。市としても受け入れたいが各ゴミ処理センターには余裕がない。

#### 木村ともりのり



#### 乱立する大型店と地域の活性化について

市内は大型店の乱立により商店街や中小零細業者にとって大きな影響を受け、商店街はシャッター通りと化すなど多くの問題が発生しています。この秋開店予定の仮称「アリオ鷺宮」について質問しました。

問 「アリオ鷺宮」の進捗状況と環境整備についてどのように考えているのか。

答 規模を縮小し、今秋開店の予定。専門店モールの北館はまだ、未定のところがある。周辺整備では、公園、緑地帯を整備している。信号機など支障のないように設置しているが今後の拡張などの段階で、環境整備も含め検討する。

問 市内大型店の設置状況、商店街への影響はどう見ているのか。

答 市内の売り場面積当たりに大型店が占める割合は、久喜市全体で76%、鷺宮地域では84%。菖蒲のモラージュがオープンの際は売り上げが20%減の影響があったことが商工会の調査で明らかである。

問 市内の商業振興のため、中小企業振興条例の制定をおこなうべきだ。

答 条例化は考えていない。

# 暮らしがたいへんだからこそ 市民のくらしをあと押し

一般質問のご報告

渡辺まさよ



石田としはる



## アスポート教育支援事業について

問 現在埼玉県が進めている生活保護者チャレンジ支援事業の中のアスポート教育支援事業は、中学生を持つ保護受給者に学習支援をし、貧困の連鎖を断ち切る上で、成果が出ている。県では今年、教室会場を1.5倍に増やすようだが、久喜ではできないか。久喜市独自でもするべきと考えるが。

答 今年度早ければ6月中から鶴寿荘にて行う。

## 東北道路のアンダーパスについて

問 東北道側道のくぐり(アンダーパス)は鉄板を敷いてあるところがあるが、車が通行するたびに持ち上がり、すごい音をたてる所がある。点検は行っているのか。改善するべきだが。

答 撤去、改修をすすめていく。

## 子ども医療費無料化の拡大を中学卒業まで

問 市は子ども医療費通院無料化の拡大は取り組む課題としている。少子化食い止めのためにも早く決断すべきと考えるが。

答 H25度より中学卒業まで通院無料を拡大する。

## 南栗橋液状化被災

### 復興に向けた取り組みは

問 国の復興特別区域に指定され、液状化対策事業では、道路や下水道などの公共施設と隣接宅地などとの一体的な対策ができる。どのような工法が考えられるか。また宅地の地盤修復工事を待った方が望ましい場合も考えられるのではないか。久喜市の支援は一回限りとされているが、限度額に満たない場合、支援対象にすべきと考えるがどうか。

答 「水抜き」、「地盤改良」の工法がある。修復は待った方が良いと考えられる場合もある。限度額までは支援対象となるよう検討する。

### 県立小児医療センター現地存続を

問 久喜市としても県に対し現地存続の要請を行うべきと考えるがどうか。

答 県はセンターの一部機能存続との表明もあり、県の動向を注視していく。(詳細は次号で)

### 図書室のスペース充実を

問 指定文化財「水塚」完成に伴い栗橋文化会館イリス内の展示物を「水塚」へ移転し、空いたスペースを子ども専用の読書室などにしてはどうか

答 図書室を充実させる方向ですすめる。

久喜市立さくら保育園の移転先が、清久工業団地周辺地域開発の中に決定しました。H26年度の開園を目指し事業が進みます。土地の調査をおこない、NK株式会社との契約になります。



お詫び

前号で金環日食の日を5月28日としましたが、21日の誤りです。お詫びして訂正いたします。

## 全員協議会の内容のお知らせ

6月4日(月)開催

- (1) 東日本大震災の被災者に対する市税等の減免について  
◆被災者への減免は24年度も延長します。市税、県民税、と共に都市計画税についても被災状況の判定に基づき、7月上旬まで個別送付されたものを提出することが必要です。また、国保税、介護保険料についても減免が延長されますので、9月末まで個別通知を返送してほしいとのことです。
- (2) JR東鷲宮駅西口自転車駐車場の整備について  
◆現在、東鷲宮駅西口にある無料自転車駐輪場の横に東側にある駐輪場整備センターの方式で有料の駐輪場を整備する計画であることが判明。無料スペースはその後見直しすること。利用者、市民の声を聞くことが不可欠です。
- (3) 久喜市立さくら保育園移転用地の決定について
- (4) 埼玉県営行田浄水場からの基準値超ホルムアルデヒドが検出されたことについて